

該当箇所	パブリックコメント概要
基本理念	<p>「子育て日本一」が市民に伝わらない。10年前の「すくすくプラン」のスローガン「子どもを見まもる目と手と心」も継続されているはずなのに市民に周知されていない。</p> <p>市民のなかでビジョンが描けるようになると、市民がアイデアを出して動き出せるため、その核となる計画の基本理念の検討が必要。また市民（保護者）が読みやすい概要版の作成等による周知が必要。</p>
1 教育・保育の提供区域の地図	施設名の字が小さすぎる。情報量も多すぎるため、施設の絞り込みが必要。
(2) 地域子育て支援拠点	<p>北部の利用が少ないという根拠が示されていない。</p> <p>北部、南部についての区分けについて明示されていない。</p>
(19) 乳幼児健診	「5歳児健診」の実施の検討
(24) 地域療育支援	<p>③CLM</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「その後園での実施、評価・検討を…」が文章としては理解しにくい。ため、「その後具体的な支援を実施し、…」としてはどうか。</li> <li>・保護者との共有が必要で、身内だけの研修になっている現状の打破が必要である。</li> <li>・小学校への引き継ぎ、1年生訪問が1回だけでは十分ではない。学校と保育園の先生がたがいに参観することは、保育がどのように教育につながっているかを知ることができる機会となる。そのためには先生の数少なすぎるといことも市民が意識するような計画が望ましい。</li> <li>・ケースワークを誰がコーディネートしていくのか。ピッコロ療育センターの所長の裁量でがんばっても持続可能なシステムとならない。他の施設に関しても、ピッコロ療育センター、子育て支援センター、子どもげんきはうす、家庭相談員、保育園、学校がワンチームとなっていくことの検討が必要である。</li> <li>・何でも屋のような相談窓口ではなく、専門的な相談や対応をどこがしているのかの「見える化」が必要である。</li> </ul>

(25) 思春期の支援	性教育のことだけが書かれている。小学校でも引きこもり支援や SNS 関連の相談も増えているため、市としての支援を示す必要がある。
LGBT について	身近ではないと思いますが、市としての支援体制を整えておくべき。
高富児童館について	市の児童館なのに「高富児童館」でよいのか。
計画全体	誤字脱字
計画全体	グラフの項目がセンタリングされていて読みにくい。
計画全体	議会答弁集のようで、計画が示されているだけで、どこが窓口かもはっきりしていない。計画の説明をするよりも、もっと有効活用される計画にするように吟味が必要。
計画全体	各事業について、具体的に記述されていない。